

名寄警察署からのお知らせ（6月）

1 不法就労・不法滞在防止のための理解と協力の確保

忍び寄る犯罪組織の国際化 あなたの目が街を守る

新型コロナウイルス感染症における水際対策の見直しによる就労外国人の新規入国が一部認められたことに伴い、深刻な人手不足や外国人技能実習制度の活用による外国人雇用の増加に伴う来日が予想されることから、一部の外国人による不法滞在や不法就労などの犯罪増加が懸念されます。

在留カードを偽造して不法就労したり、在留資格を不正に取得することを目的として偽装結婚をするなど、その手口は悪質・巧妙化しており、このような犯罪に国際的な犯罪組織が関与していることもうかがわれます。

地域の安全を妨げる国際犯罪組織の暗躍を防止するためには、警察や関係機関のみならず、道民の皆さんのご協力が欠かせません。

どんなにささいなことでも構いませんので、「おかしいな？」と思ったら、警察に通報してください。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2 薬物乱用の防止

薬物、ダメ。ゼッタイ。

覚醒剤や大麻などの薬物を乱用すると、身体や精神がボロボロになり、記憶障害や人格変化により、以前と同様の生活をするができなくなるばかりか、場合によっては死に至ることもあります。

また、薬物乱用は周囲の大切な人を巻き込むこととなるだけでなく、幻覚や妄想による殺人、薬物の購入代金欲しさによる強盗や窃盗、重大な交通事故など取り返しの付かない事件につながるおそれがあり、社会全体に被害を与えます。

北海道警察では関係機関とも連携しつつ、薬物乱用者の取締りを行うとともに薬物密輸の阻止や密売組織の壊滅を推進し、全力を挙げて違法薬物の絶無を図っています。

昨今、SNSなどにおいて、依存性や危険性はないというような誤った情報が見受けられますが、大麻を含め、一度でも違法薬物に手を出してしまうと、その強い依存性によって、自分の意思では止めることができなくなります。

もし違法薬物を勧められたり、誘われるようなことがあれば、キッパリと断り、その場を離れることが大切です。

薬物に関してのご相談は、最寄りの警察署までお寄せください。

3 二輪車の交通事故防止

スピードは 視野も心も 狭くする

(1) より安全で快適な走行を

バイクは車体が小さく、他の車のドライバーからは、ミラー等の死角になって見落とされたり、距離感や速度感覚がわかりにくく、交通事故になるケースがあります。

運転する際には、前の車両とは車間距離をしっかりととり、自動車の死角にならないよう走行しましょう。

また、スピードの出し過ぎは、カーブで曲がりきれずに路外逸脱事故などに繋がるおそれがあり、無理な追越しは正面衝突を引き起こす要因になります。

また、ちょっとした砂や石によって転倒してしまうおそれがあるので、運転する際はスピードダウンで安全に走行しましょう。

(2) 交通事故を防止するために

バイク仲間とツーリングをすることもありますが、ツーリング中の交通事故も発生しています。

ツーリング中の交通事故を防ぐためには、ツーリングの前に仲間同士で入念な計画を立てることや、仲間から離れてしまった場合のために集合場所をあらかじめ決めておくことが重要です。

これをしておかないと、バイクの運転経験が浅い人が遅れを取り戻そうとして無理な運転をして交通事故に発展することも考えられます。

また、経験豊富なベテランドライバーも無理な運転はせずに安全運転に努めましょう。そして時間と計画にゆとりをもったツーリングをしましょう。